

事業番号	387
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	市民センター施設管理事業						担当部	教育委員会事務局							
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系		担当課	北里市民センター							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	庶務係							
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		16 生涯学習		2 学習活動を支援します									
		副目的														
	予算区分	款	10		項	5		目	2		大	6		中	2	
	根拠法令・個別計画	小牧市公民館の設置及び管理に関する条例														
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	公民館などの機能を十分発揮できるように、適法及び適切な建物管理、舞台管理などを行っていく。														
	内容 (手段)	<p>主な支出内容 光熱水費 小額な修繕 委託料 借上料</p> <p>主な業務内容 ・建物、設備に関する業務委託や法定点検について、契約行為、点検の確認、報告書の点検、支払事務 ・コインコピー機、土地等の借上について、契約行為、支払事務等 ・建物、備品等修繕について、発注・支払業務</p> <p>(H25直接経費の内訳) ・消耗品費、光熱水費、修繕料(22,879千円) ・手数料(16千円) ・施設管理委託料等(29,896千円) ・駐車場用地借上料等(2,986千円) ・備品購入費(984千円)</p> <p>(その他財源の内訳) ・公民館使用料(2,895千円)</p> <p>(H26直接経費の内訳) ・消耗品費、光熱水費、修繕料(69,492千円) ・施設管理等委託料(32,550千円) ・駐車場用地借上料等(3,115千円) ・備品購入費(2,100千円) ・還付金(50千円)</p>														
	受益者負担	有		公民館使用料 2,895,172円 (使用料は、部屋、時間帯により条例で定められている。)												

コスト	費用			単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額
		直接経費			千円	44,696	44,817	56,761
費用	正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
		人件費	千円	526	526	526	526	
	その他職員	従事者数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
		人件費	千円	728	728	728	728	
費用合計		千円	45,950	46,071	58,015	108,561		
対前年比		%			100.2	125.9	187.1	
財源	一般財源		千円	43,339	43,525	55,120	101,422	
	国・県支出金		千円	0	0	0	4,500	
	その他財源		千円	2,611	2,546	2,895	2,639	

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	清掃及び警備等日数 (開館日)	日	目標	361	361	360
実績				361	361	360	
業	昇降機保守点検	回	目標	12	12	12	12
			実績	12	12	12	
業	舞台照明、舞台音響及 び舞台機構点検	回	目標	5	5	5	5
			実績	5	5	5	
業	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	開館日数(閉館しない日 数)	日	目標	361	361	360	361
実績			361	361	360		
業	施設利用件数	件	目標	2,300	2,300	2,300	2,300
			実績	2,010	2,147	2,325	

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	定期的な保守管理により施設や設備を保全することができ、また、建設後の経年劣化に伴い必要となった設備等の修繕を適切に行い、安全に利用してもらうことができた。施設利用件数の目標を達成することができた。				
		事業実施における課題	平成4年建設以来、施設設備等の老朽化が目立つようになり、突発的な故障や不具合の発生がみられた。耐用年数を経過した機器等も多く、今後も各種保守点検を実施しつつ、設備や機器の改修・更新を計画的に進めていく必要がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	施設管理が不十分となり、利用する人たちに対し重大な事故を招く恐れがでる。				
		平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)				
		平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)		
		判定理由	各種設備の点検保守については、業務委託により効率的に実施している。また、老朽化した箇所の改修・更新を計画的に実施していくことにより、市民サービス提供拠点としての役割を果たし、さらに施設の利便性を向上させていくため、現状維持とした。				
		27年度以降の改善案	施設・設備の老朽化に伴い緊急を要する修繕費の増大が見込まれるため、計画に沿った改修や機器等の更新を進め、その長寿命化を図っていく。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 指定管理者制度の導入について検討されたい。